

第3回

蒲田駅周辺地区基盤整備研究会

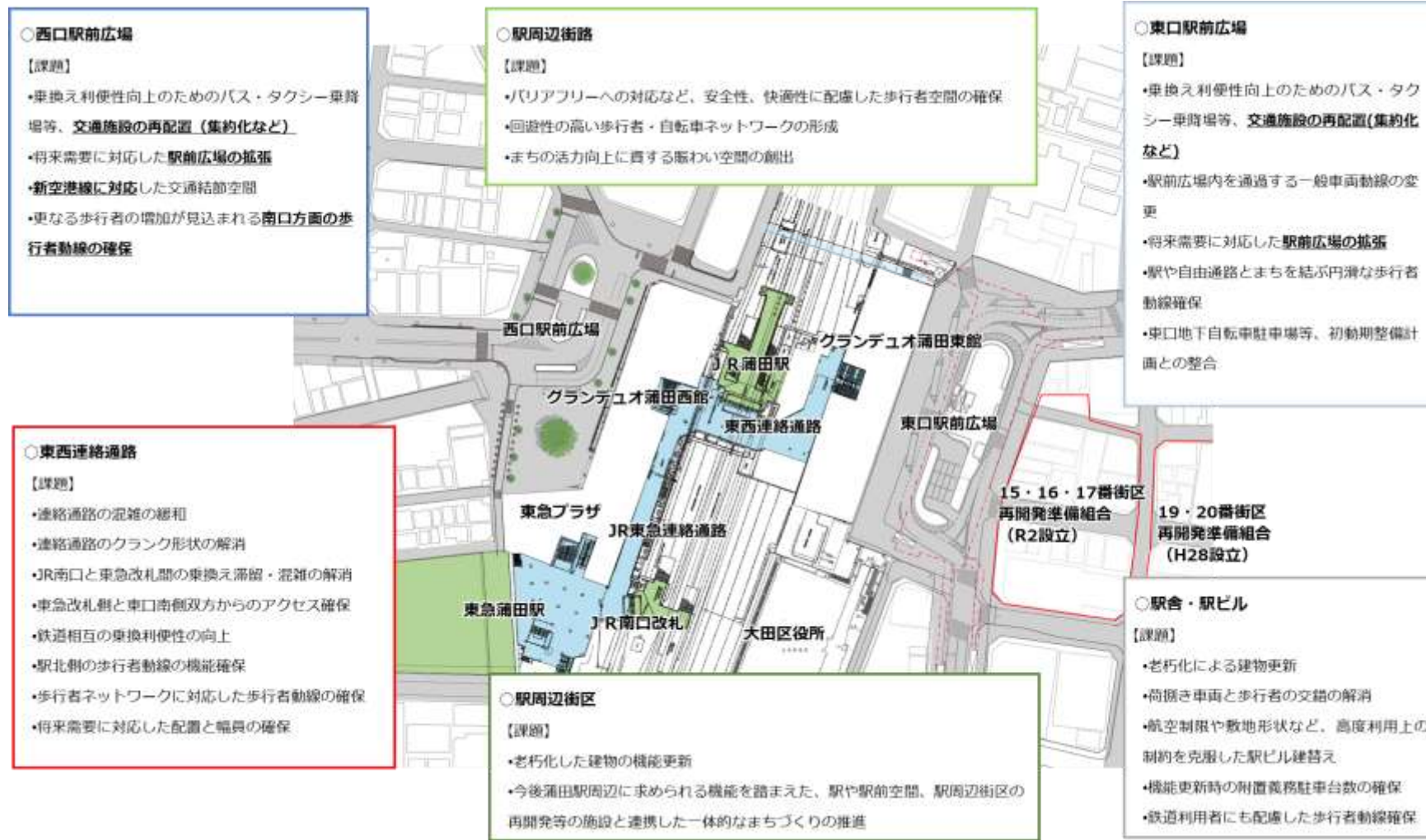
2021.2.2

目次

1. 第2回蒲田駅周辺地区基盤整備研究会の振り返り
2. 検討スケジュール
3. 蒲田駅周辺地区ランドデザインにおけるまちづくりの方向性
4. 基盤整備コンセプトと基盤整備イメージ

1. 第2回蒲田駅周辺地区基盤整備研究会の振り返り

(1) 蒲田駅周辺における課題



(2) 基盤整備の検討方針

- 駅舎、駅ビル、東西自由通路や駅前広場などの基盤施設の一体的整備によって**最大限の利便性を発揮する駅前空間**
- 回遊性の高い歩行者空間の整備とともに、歩行者の安全性に配慮した車両の誘導、抑制などによる**歩行者優先のまちづくり**
- 自転車駐車場や自転車利用環境の計画的な整備や、次世代交通を見据えた**多様な移動手段の有効活用による快適な移動環境**

(3) 整備の方向性

| 自由通路・連絡通路(東西ネットワーク)・駅空間 |

- 駅東西の連絡性・回遊性の強化を図るため、東西駅前広場を直線でつなぐデッキレベルの自由通路を整備します。
- 新空港線整備を見据えたまちや鉄道相互の連絡の利便性向上を図ります。
- 駅北側の自転車・歩行者東西ネットワークの利便性向上を図ります。

| 西口駅前広場 |

- 歩行者動線の改善・交通結節機能の強化のため公共交通機能の集約・再配置を行います。
- 歩行者環境の改善のため、周辺用地の活用可能性を含め歩行者空間確保を検討します。

| 東口駅前広場 |

- 歩行者環境の改善・交通結節機能の強化のため、駅前広場を拡張し公共交通機能の集約・再配置を行い、初動期整備計画との整合性を図りながら、さらなる利便性の向上を図ります。
- 駅前広場の拡張については、周辺の公共施設や周辺街区の活用可能性も含めて検討します。

| 西口駅周辺街路・街区 |

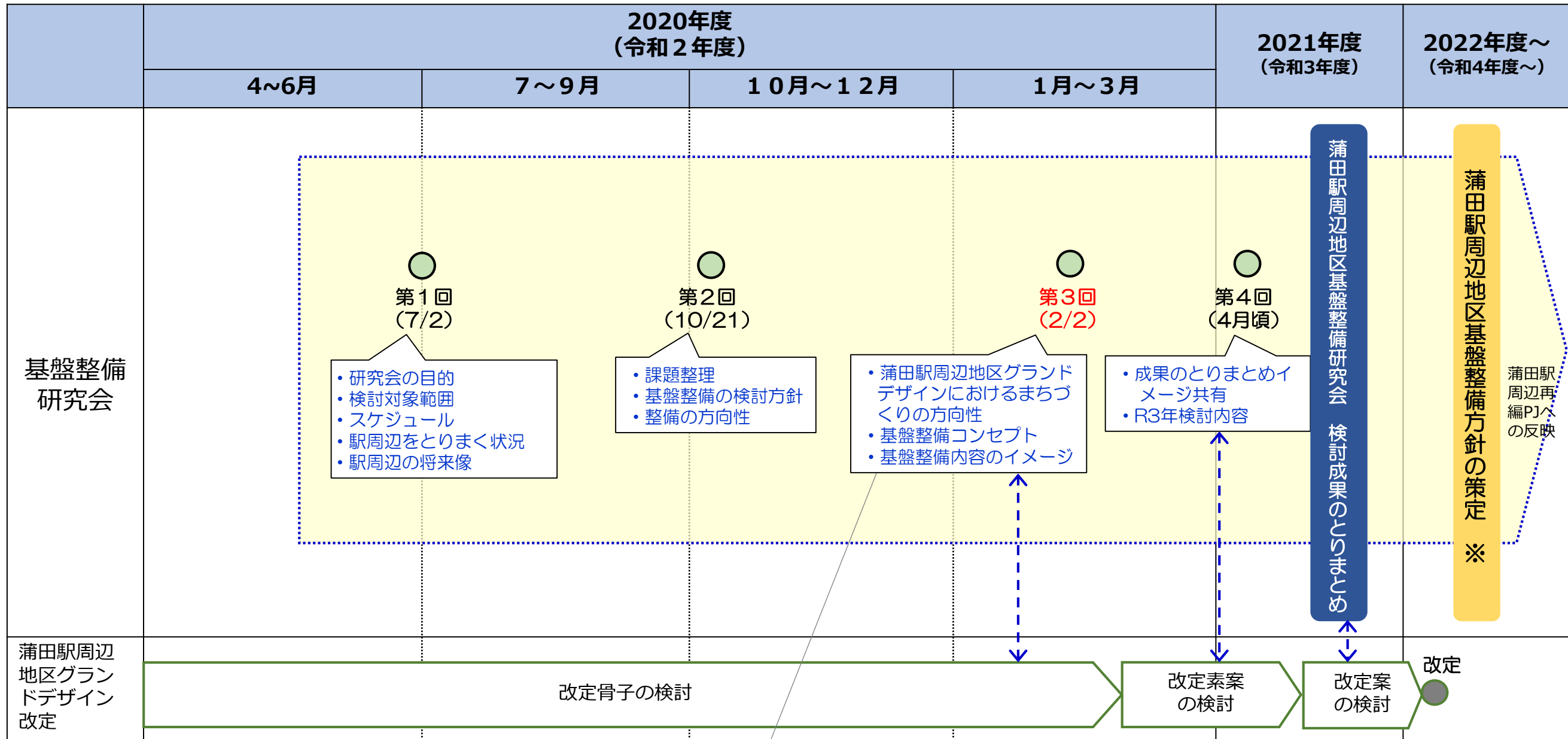
- 周辺建物の建替えなどに合わせて歩行者空間確保を検討します。

| 東口駅周辺街路・街区 |

- 駅周辺に求められる機能や駅前基盤施設と連携し、歩行者優先の空間を確保します。

2. 検討スケジュール

※上位計画である蒲田駅周辺地区グランドデザイン改定については現在検討中であるが、その検討内容を踏まえた基盤整備方針を策定する必要があるため、基盤整備方針の策定時期をグランドデザイン改定後に変更



【第3回検討フロー・内容】



※「拠点」 = 「蒲田駅を中心とする地区」

3. 蒲田駅周辺地区グランドデザインにおけるまちづくりの方向性

※第5回蒲田駅周辺地区グランドデザイン専門部会（R3.1.14）
（資料7）まちづくりの方向性より

● 蒲田駅周辺地区グランドデザイン改定専門部会にて議論されている蒲田駅周辺地区のまちづくりの方向性、拠点（蒲田駅を中心とする地区）におけるまちづくりの方向性を整理します。

（1）蒲田駅周辺地区におけるまちづくりの方向性

JR・東急蒲田駅と京急蒲田駅は、複数の鉄道路線が乗り入れていることから、区内外をつなぐ交通結節点（人や活動が多く集まる場所）であり、グランドデザイン対象範囲の中心（顔）であることから、より重点的・積極的なまちづくりを推進するため、**JR・東急蒲田駅前と京急蒲田駅前を拠点（核）に位置付ける。**

【グランドデザイン対象範囲のまちづくり】

「環境」が整った様々な「空間」で多様な「活動」が展開され、にぎわいが創出されることを目的に、2つの拠点（核）を軸が繋ぐまちの骨格を形成し、骨格を中心として生じるにぎわいが地区全体に波及する一体的なまちづくりを推進する。

（2）拠点（蒲田駅を中心とする地区）におけるまちづくりの方向性

都市軸

都市軸の始点であり、東西を結ぶ重要な位置にあることから、まち全体をつなぎ一体性を創出する。交通結節点として、駅から駅のみならず、駅からまちをスムーズにつなぎ、人々をまちにひろげる。

ネットワーク

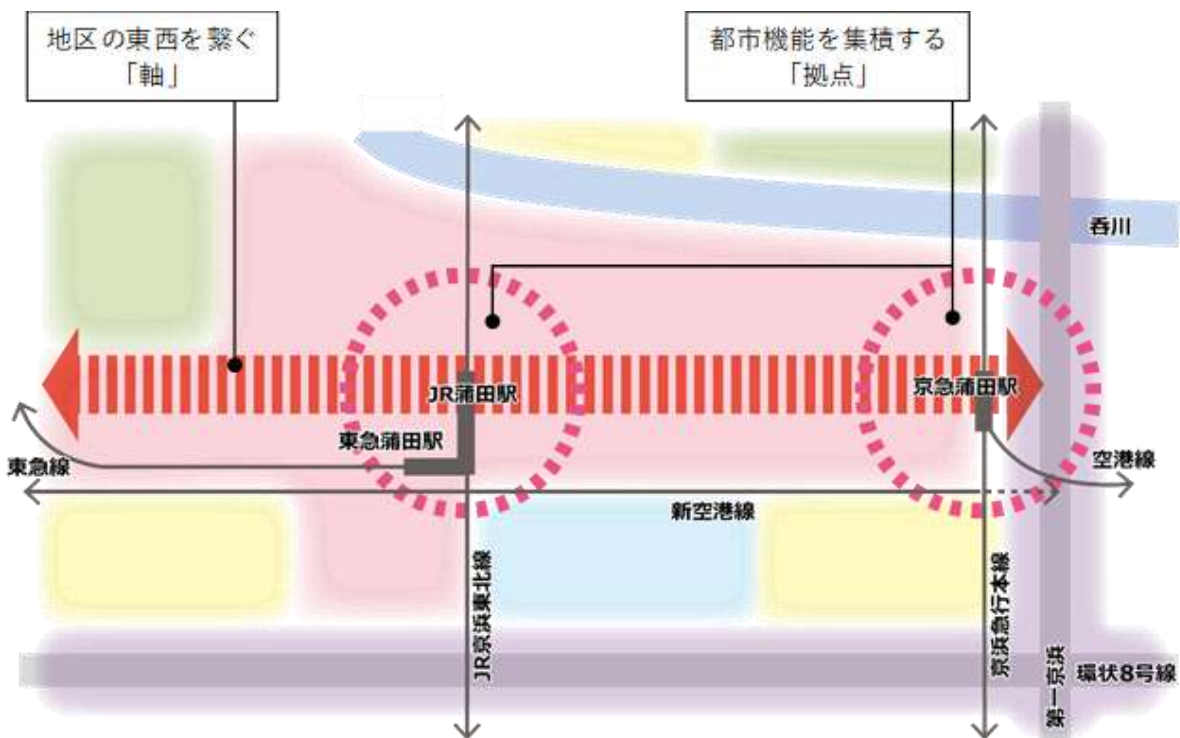
歩行者、自動車、公共交通等があつまる場所であることから、それらを受け入れ、安全・快適な回遊を促す。

機能誘導

複合的な土地利用が求められる蒲田地区の中心であることから、商業・業務のまちとしての顔（核）をつくる。

拠点に求められる3つの視点

ひと・もの・ことを集め、生まれる活力をつなぎ、エリア全体に広げていくことが求められる



機能誘導の方針(案)

凡例	エリア名称	設定根拠・定義	機能誘導の方針(案) (◎：特に誘導を図る機能 ○：誘導を図る機能)						
			商業	観光宿泊	業務	産業支援	公共公益	生活利便	住宅
■	(仮称) にぎわい拠点エリア	多くの商店街を始め、小売店舗や飲食店が集積	◎	◎	◎	○	○		
■	(仮称) 創造・交流エリア	大規模な業務施設・官公庁施設が立地	○	○	◎	◎	◎		
■	(仮称) 多彩な活動エリア	商業・業務・住宅などの多様な用途が混在	○	○	○		○	◎	○
■	(仮称) 暮らしの拠点エリア	第一種住居地域を有するエリア 住宅中心。業務施設が点在			○			○	◎

駅を中心とする地区の基盤施設（駅舎・駅ビル、駅前広場（東口・西口）、東西自由通路、駅周辺街路）の課題解決を図りながら、改定蒲田駅周辺地区グランドデザインで示された蒲田駅を中心とする地区のまちづくりを実現する

4. 基盤整備コンセプトと基盤整備内容のイメージ

- 拠点におけるまちづくりの方向性等を踏まえて、蒲田駅を中心とする地区の基盤整備コンセプトを設定し、コンセプトに紐づく基盤施設の整備イメージを示します。

[基盤整備コンセプト]

文化・交流・にぎわい創出の拠点として国内外とつなぐ、まちをつなぐ

～多彩な「活動」が広がるまちをけん引する交通結節点～

つながる

東西のまちの
連携強化

あつまる

ひとの通行や滞留を
ささえる空間形成

ひろがる

交流・にぎわいを
まちへひろげる空間形成

[基盤整備内容のイメージ]

駅周辺のバス乗降場の駅前広場への集約による西口周辺街路の道路空間再編

東西の駅周辺に分散する交通施設を駅前広場に集約し、交通結節機能を強化

北側通路の機能強化に向けた検討

駅周辺のバス乗降場の駅前広場への集約による東口周辺街路の道路空間再編

西口駅ビルと連携した、西口駅前広場の歩行者空間の確保・再整備

初動期整備との整合性を図りながら、さらなる利便性向上のため東口駅前広場を拡張・再整備

新空港線から他路線への円滑な乗り換え動線の確保

主要89号線を歩行者中心の空間に再編

歩行者の増加が著しい南口周辺の歩行者空間の整備

駅東西をつなぐ東西自由通路をデッキレベルに整備し、バリアフリーな歩行者動線を整備

大区街7号線の安全な横断のための歩車分離策の検討